

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
レクリエーションアクティビティⅡ Recreation Activity Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(「レクリエーションインストラクター」「スポーツプログラマー」「ジュニアスポーツ指導員」資格取得者科目)	「レクリエーションアクティビティⅠ」を履修済みのこと
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
レクリエーションアクティビティⅠ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
菅野 清子		本館1階 非常勤講師室	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
<p>「レクリエーションアクティビティⅡ」では様々なレクリエーション財(素材)を実際に体験し、その楽しさをレクリエーション主体者にどのような支援していくのが良いのかを学んでいきます。レクリエーションは、幼児から高齢者に至るまで、多くの場面において、その果たす役割は多く、社会福祉サービスや医療機関などでも注目されています。人々への日常的な楽しさや心地よさを提供する支援者としての役割を、演習を通して学修していきます。</p>				
授業の目標				
<p>①色々なレクリエーション財(素材)の楽しさについて、主体者に説明できるようにする。 ②対象者に応じたレクリエーションプログラムの作成ができるようにする。 ③レクリエーション支援についての基本的スキルが実践できるようにする。 ④人前に立つことに慣れ、楽しさや心地よさを提供できるようにする。</p>				
授業の方法				
<p>実技とグループワークを中心に行う。また、スキルアップのため覚えたアクティビティを、みんなの前で提供するなど、常にシュミレーションしながら進めていく。言語表現力や、コミュニケーション力を身につけるため毎回、雑談トークを人前で実施。</p>				
学習の成果(学習成果)				
<p>①幼児、児童、青年、高齢者、障がい者など、対象者に応じた幅広いレクリエーション財を提供し、技術を身に付けることができる。 ②それぞれの場面に応じた、レクリエーションプログラムの作成が出来る。 ③ホスピタリティやコミュニケーションワークなど基本的な支援スキルが習得できる。</p>				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業の進め方、成績評価方法、レクリエーション関連資格について)			
第2回目	アイスブレイキングプログラムの体験と基礎技術			
第3回目	レクリエーション活動の提供スキル①同時発声・同時動作の実践			
第4回目	レクリエーション活動の提供スキル②対象者に合わせたアクティビティ(介護予防・ニュースポーツ・ダンス)			
第5回目	レクリエーション活動の提供スキル③対象者に合わせたアクティビティ(高齢者施設・遊びリテーション音楽レク)			
第6回目	レクリエーション活動の提供スキル④対象者に合わせたアクティビティ(子どもの居場所づくり・クラフトチャレンジ・ザ・ゲーム②)			

第7回目	レクリエーション活動の提供スキル⑤幼児や児童を対象としたアクティビティの実際（児童館・教室）
第8回目	レクリエーション活動の提供スキル⑥目的に合わせたレクリエーション
第9回目	レクリエーション活動の提供スキル⑦ハードル設定とCSSプロセスの体験と理解
第10回目	レクリエーション活動の提供スキル⑧ハードル設定とCSSプロセスの習得
第11回目	レクリエーション支援のプログラム作成とその発表・評価①
第12回目	レクリエーション支援のプログラム作成とその発表・評価②
第13回目	レクリエーション支援のプログラム作成とその発表・評価③
第14回目	総合演習 実技指導①
第15回目	総合演習 実技指導② ふりかえり

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中し、与えられた課題に対して前向きに取り組んでいる。 ・グループワークに積極的に取り組んでいる。 ・必要な事項をきちんとノートに記録している。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	50%	レクリエーションプログラムの発表と、実技指導。目的にあった内容が、楽しく伝えられているか、指導力を評価。
その他	20%	毎回リアクションペーパーを配布、内容についても評価する。

教科書と参考図書

教科書・・・使用しない
 参考書・・・「レクリエーション支援の基礎」公益財団法人 日本レクリエーション協会 他 随時紹介

履修上の留意点・ルール

- ・演習やグループワークでの積極的な参加（皆で楽しむ姿勢）
- ・常に現場を意識し、支援者としての自覚を持って授業に臨むこと。